

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 5月31日更新

事務事業名	介護保険システム維持管理事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連						
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名	内田 秀一郎		
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加	所属課	高齢者支援課	担当者名	鷹巣 孝之		
	基本事業	50	高齢者支援体制の充実	所属班	高齢者保険班	(内線)	2121		
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	介護保険法	成果優先度評価結果	
	介護	1	1	1	10479			コスト削減優先度評価結果	
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)				

★事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	平成12年4月1日介護保険制度発足とあわせて、介護保険事業を行なうに必要な資格管理、認定管理、給付管理、保険料管理など被保険者に関する基本データの管理を開始した。今後の高齢化の進展とあわせてさらに被保険者数は増加するため基本データを電算化して管理することは益々必要と思われる。
【業務の流れ】	資格管理、保険料管理、認定者管理、給付管理、収納管理を電算システムにより行う。
【主な予算費目】	需要費、役務費、委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:	
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
資格管理、保険料管理、認定者管理、給付管理、収納管理等の介護保険事業に関する事務を電算システムにより行った。	廃止	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→	イ	スタンダードアローンで運用していた介護保険システムを、H23年1月よりWEB化し総合行政システムに組み込み、それと共にASP化したことにより、H23年1月分より維持管理費は原課会計には計上しない。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
職員及び介護保険システム	→	イ 職員数 人
		イ 介護保険システム 件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
介護保険事業を円滑に執行する。	→	イ システムを利用して正確に処理された業務の割合 %
		イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 介護保険システムがどれだけ円滑に稼働したか。 システムが維持されなければ、介護保険事業が運営できないため。		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	
① 活動指標	ア									
	イ									
② 対象指標	ア	人	4	4	4	4	0	0	0	
	イ	件	1	1	1	1	0	0	0	
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	0	0	0	
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	264	264	1,455	214			
	人件費	(A) 事業費計	千円	264	264	1,455	214	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	3	3	4	0	0	0
	延べ業務時間	時間	45	45	280	71	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円	180	179	1,114	292	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	444	443	2,569	506	0	0	0	

総トータルコスト  
全体計画  
~  
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	介護保険システム維持管理事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	----------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE) ※原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 事業統合
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 事業統合
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 スタンドアロンで運用していた介護保険システムを、H23年1月よりWEB化し総合行政システムに組み込み、それと共にASP化したことにより、H23年1月分より事業統合。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 スタンドアロンで運用していた介護保険システムを、H23年1月よりWEB化し総合行政システムに組み込み、それと共にASP化したことにより、H23年1月分より事業統合。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 日々高齢者数、介護申請者、認定者数は増え続けており、人的削減は難しい。また個人情報を取り扱うことから外部委託を行なう際は慎重に判断を行なう必要がある。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 特定の受益者はいない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 介護保険法で定められているため適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						